

学校の教育目標

集団の力を活かして、よりよい社会の創り手として「自走」できる生徒

【教育課題】

- 主体性が育っていない
  - ・ 指示待ち、他者に依存し自分の人生を歩んでいない
  - ・ 間違ふことへの抵抗
  - ・ 自信のなさから一步を踏み出すことができない
- コミュニケーション能力が身につけていない
  - ・ 他者の立場で、気持ちを考えることができない

【経営課題】

- 教員の生徒自身に考えさせる指導が十分でない
  - ・ Whyが抜けている
  - ・ 失敗がOKの環境になってない
  - ・ 振返りを自己認識、成長に生かすことが出来ていない
  - ・ 教員が手を入れすぎている(楽、教師のスキル不足)
- 行事や分掌、役割に追われ時間的な余裕がない
  - ・ より少なく、しかしより良く(行事の精選、一点集中)

重点目標

集団の力を活かして、「自律」の習慣と「対話」のスキルを高め「主体性」を育てる

- ※ 自律…心理的安全性、自分の行動を自身で選択・調整・決定、成功体験
- ※ 対話…他者の考えや思いを傾聴、多様性の理解、成功体験を共有、所属感
- ※ 主体性…成功体験を再現、自分にとってよりよい状態を自分で作り出す、他者貢献

経営の重点

「目標設定」「リフレクション」「フィードバック」の習慣化を位置づけた教育活動の構築

- ※ 目標設定…なりたい自分(GOAL)を設定する=Whyを自覚→内的動機づけ→成功体験
- ※ リフレクション…内省、振返り=自己認識→成長を実感→再現欲求→自分をコントロール
- ※ フィードバック…他者からの評価=傾聴→多様性の理解→自己理解→自己有用感→主体性

「自律」の習慣→学ぶ習慣

自分の行動を自分で調整・選択・決定

- 生徒による目標設定のために
  - ※安心して失敗できる環境づくり
  - ※Whyの明確化
  - ※自己認識する力(メタ認知)
    - ・自分に必要なスキルを判断
  - ※成長の目標設定
  - ※行動の目標設定
    - ・すること、しないことの決定
- 学び方の獲得のために
  - ※基本:InPut→暗記→OutPut
  - ※生徒同士の学び合い
  - ※ICTを活用した個別最適な学び
- 学びの習慣化のために
  - ※学びを通じた感動体験
    - ・探求することの喜び
    - ・自分で分かることの喜び
    - ・他者と協働することの喜び
  - ※指導技術の向上
    - ・教えるから問うへの転換
    - ・少人数の利点を生かした授業
  - ※学びに対するリフレクション
    - ・知識、技能の成長を実感
    - ・成長の喜びの再現欲求
  - ※教員からのフィードバック
    - ・成長の実感、成長意欲の向上
  - ※行動に対するリフレクション
    - ・自分をコントロールする力
    - ・出来た要因(再現性)
    - ・出来ない要因(改善点)

「対話」のスキル→つながるスキル

他者の思いを聞き取る・多様性を理解

- 多様性の理解のために
  - ※3つの段階の考え方の獲得
    - ・他者の考えに違和感を抱くのは当たり前(メタ認知)
    - ・自分の価値観で即断しない
    - ・他者の考えの背景を考える
  - ※人権・同和教育の充実
  - ※道徳教育の充実
  - ※特別支援教育の充実
    - ・合理的配慮への理解
  - ※帰りの会でのリフレクション
    - 心理的安全性の確保
    - いじめの未然防止
- 他者の考えを聞き取るために
  - ※他者の考え・発言を否定しない
  - ※自分とは考えが異なる他者を排除しない
  - ※他者の失敗を笑わない
  - ※行動に対するリフレクション
    - 助けを求めることが出来る
    - 生徒同士の学び合いが出来る
    - 安心して意見を言える
- つながるために
  - ※協働での成功体験
    - ・他者からのフィードバック
    - ・自己有用感
  - ※自己認識
    - ・他者への関わり方の理解
    - ・SCとのカウンセリング

主体性→生涯成長し続ける

自分にとってよりよい状態を自分で作る

- 前提:生理的欲求・安全欲求・社会的欲求が満たされている
- 生活上の不安解消のために
  - ※ネグレクト、虐待等の把握
  - ※チームでの対応(ケース会議)
    - ・SSW、行政・医療機関と連携
- 人間関係の不安解消のために
  - ※不登校の予防、いじめの把握
  - ・各種アンケート、教育相談等
  - ※早期対応、早期解消
    - ・いじめ防止不登校対策委員会
    - ・SCとの連携
  - ※「対話」のスキルを育成
- 集団への所属感を得るために
  - ※生徒の協働による成功体験
    - ・Whyの共有と目標設定
    - ・学び合いと感動体験
    - ・リフレクションで成長を実感
    - ・フィードバックで自己有用感
    - ・良好な人間関係と貢献意欲
  - ※学校外と協働による成功体験
    - ・「人権のまちづくり」と連携
    - ・小学校、PTA、地域と連携
    - ・地域社会への貢献意欲
- よりよい社会の創り手として世界を変える行動を起こすために
  - ※どんな人になりたいかWhy
  - ※キャリア教育の充実